

市民活動支援センターからのお知らせ

【共催事業】子ども食堂&中高生の学習支援

支援センターの駐車場にキッチンカーがやってくる、移動式子ども食堂の「あいだいなー」。第4日曜日に開催しています。中学生までの子どもと妊婦さんは無料。8月は22日(日)16時から19時です。また、主催のNPO法人あいだは、中高生の学習支援の取り組みもはじめます。8月5日(木)、21日(土)、27日(金)19時~21時、会場は支援センター、費用は無料です。参加などについては支援センターにお問い合わせください。



【イベント】あなたができる、温暖化ストップ

ニャオざねまつり実行委員会による、ミニイベントです。8月29日(日)10時から12時、光熱費カットができる「鍋帽子」調理の実演と苗木の配布をおこないます。

講師は熊谷友の会、エコネットくまがや、会場は支援センターです。



【共催事業】保護者向け漢文教室 参加募集

漢文音読会主催、保護者向けの漢文教室「中国の名言を読む」。9月18日(土)・9月25日(土)の13時~15時。全2回で1回の参加もできます。資料代300円。対象は幼~高の保護者、各回10名、申込みは090-5431-0079(古茂田)

生涯学習×市民活動の講座、講師募集!

支援センターは、令和7年度に市役所敷地内に新設される「(仮)第1中央生涯活動センター」への移転が発表されました。市民活動のほか、生涯学習など複数分野を同じ場所でサポートする新施設。みんなのためになれば何でもできるのが身の上の市民活動には、よい効果が期待できそうです。

支援センターでは、生涯教育との乗り入れを考えるため多くの市民に自分の得意を広める「フリー講座」をオープン。団体・個人問わず、市民のためになる講座を開いてくれる方を募集します。経費・参加費などは応相談。

パソコン・スマホ、文化系、運動系、手づくりその他、ジャンルは問いません。支援センターが初めてという方も大歓迎です。



服、食器などの生活用品をご活用ください



ニャオざねまつりショップと一緒に、「無料コーナー」も常設しています。自分は今も活用できないけれど、誰かが使っていたらいいと、持ち込まれたものです。

みんなで団体紹介!情報をお寄せください

ニャオざね祭りの展示でも活用できるように、A4の大きさで皆さまの活動を紹介するボードを作成しています。メッセージと写真を掲載でき、手書きでもPCでの作成できます。

普段の活動の紹介や、会員募集など、皆さまの情報をぜひ、お寄せください。詳細はスタッフにお声がけを。



はじめる・ひろがる・つながる



2021年度 ニャオざねまつり 参加団体 募集!

感染拡大予防のため、制限をしながらの市民活動が続いています。ニャオざねまつりは今年度も、「いつでも・どこでも」をキーワードに、工夫をしながら実施します。様々な参加の方法があり、今後の状況で変更になることもあります。ぜひご参加ください!

目的

- ・多くの方に、市民活動を知ってもらいたい!
- ・事業者や行政など様々な機関との協働の実践
- ・参加する市民や活動団体の交流の場づくり



1.市内各所での展示

模造紙1枚の大きさで、活動を写真などでPRできます。8月23日から、市役所でのギャラリー展などを予定しています。昨年同様、市内の様々な場所での展示も企画中です。



各団体の活動をPR

2.ニャオざねまつりショップ

手作り品などを支援センターで、物品の販売ができます。期間は1ヶ月間、8月からを募集中。6月は在宅ライフ倶楽部、熊谷友の会、二十二夜、アンサンブルジョアによる、小物やマスクなどを販売。7月はひだまりの会、ひなたぼっこ、趣味サークル、くまがやピンクリボンの会です。



売上は活動資金に

3.ニャオざねまつり 10月17日(日)出店

近年ではドームで実施していましたが、今年度は支援センターなどを会場として、いくつかの場所で分散開催を企画しています。声や音を出すパフォーマンス系の出店は難しく、販売や展示、ワークショップを想定しています。

4.動画「ニャオざねまつりチャンネル」

あらためて、3分程度の活動紹介の動画をYou Tubeに「ニャオざね祭りチャンネル」として掲載、展示やミニイベントでもPRします。動画づくり講座を9月に実施します。



オンラインでも参加できます

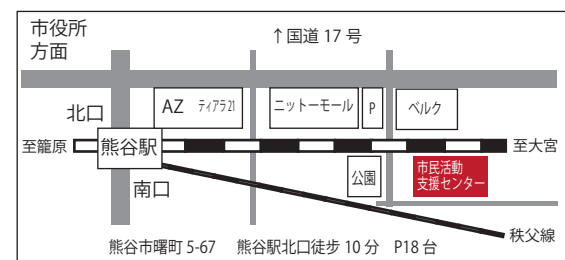
5.企画委員会への参加

毎月1回、各企画やミニイベントについて検討する実行委員会を開催しています。多くの方のアイデアや協力があると、よりよい取り組みにすることができまので、ぜひお気軽にご参加ください。次回は7月14日(水)18時から、会場は支援センターです。

参加希望や詳細は
スタッフにお声がけください!



発行：熊谷市市民活動支援センター
(指定管理者 NPO 法人 NPO くまがや)
住所：埼玉県熊谷市曙町 5-67
電話：0485221592
メール：sc@npokumagaya.org
休館日：月曜日 (ただし祝日の場合は翌日)



2020年度

いつでもどこでもニャオざねまつり実施報告



コロナ禍にみまわれた第13回ニャオざねまつり。ドームでの開催は中止となり、「いつでも・どこでも」をキーワードに、その時できることを実施しました。展示などで述べ50団体が参加。多くの方の工夫や協力で、新しい出会い・取り組みも生まれました。

©熊谷市

展示 活動をみんなでPR

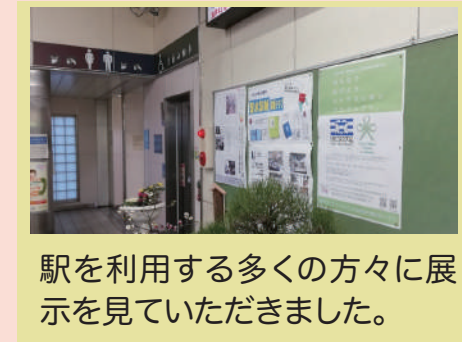
市役所ギャラリー展



多くの方に市民活動をアピールしたいという思いから、公共の場、商業施設での展示場所を模索、交渉をしました。ウエルシア薬局が展開する「ウエルカフェ」は店舗の一部を開放した休憩・活動もできるスペース。埼玉県と協定を結んでいて、県を通じて展示協力を依頼し、実現しました。



籠原駅展示



駅を利用する多くの方々に展示を見ていただきました。

ウエルカフェ



箱田二丁目店と籠原南店で計14日間実施。32団体の展示でした。

あたらしい輪をつかった、シトラスリボン



リボンのつくり方や趣旨が書かれたカードも無料配布



コロナ禍で生まれた差別をなくすために、愛媛ではじまり全国に広がっているプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(もしくは学校)です。

たった一人で熊谷で活動を始めた竹田さんが現れたのは市役所ギャラリー展初日。内容をきいたみなさんの賛同を得て、早速その場でPRがスタートしました。以降、スクラム! コラボチラシやリボンづくりワークショップなど、団体をつくらず意志ある人が広げるスタイルで活動。気軽な集まり「〇〇部」のきっかけにもなっています。

手づくり品から掘り出し物まで

ショップ



近年ではドームで開催し、他の大きなイベントと共催をしてきたニャオざね祭り。各団体の活動の発表の場とともに、手作り品などの販売の売上は、活動資金にもなります。

その機会の継続を目的に、10月から半年間実施、16団体が様々な販売をしました。

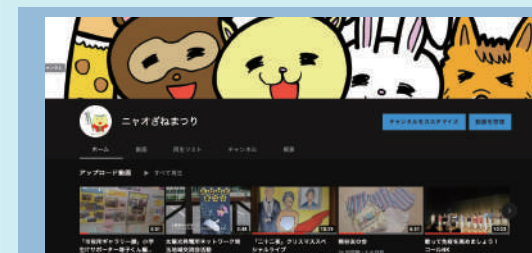


布ぞうり、マスク、バックなどの手作りの小物、国産の食品など、毎月3,4団体が参加、売上合計は20万円にもなりました。



ミニイベント

動画



動画はユーチューブに「ニャオざねまつりチャンネル」を開設。演奏などのミニイベントも二十一夜とセキスイハウスシックプラザを会場として準備しましたが、感染拡大予防のため中止となりました。

実行委員会 今やれることで工夫

橋本前会長や企画委員からの推薦を受け、2020年度は支援センターの小林所長がニャオざね祭り実行委員会の会長となりました。新しい体制のもとで参加団体と協力をしながら、企画を検討し実施しています。数カ月後の状況も分からない状況が続きましたが、感染拡大予防のため、市民活動を止めないように、“今やれること”を工夫しながら取り組みました。